

# Weekly Report

～ わが家の省エネ・節電大作戦 ～

NO.64

今週のテーマ

## 「省エネ住宅を知る」

省エネ型住宅を建てるⅡ

外皮性能の評価(住宅)

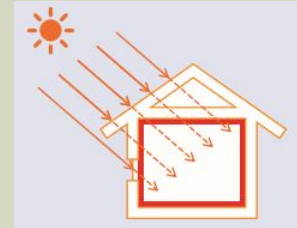
外皮平均熱貫流率の基準



外皮平均熱貫流率( $U_t$ 値)

$$= \frac{\text{単位温度差当たりの総熱損失量}}{\text{外皮表面積}}$$

冷房期の平均日射熱取得率の基準



冷房期の平均日射熱取得率( $\eta_t$ 値)

$$= \frac{\text{単位日射強度当たりの総日射熱取得量}}{\text{外皮表面積}}$$

※国土交通省「建築物省エネ法の概要」を基に作成

今回は概要を説明しましたので、今回は具体的な基準について説明します。省エネ基準には外皮性能の基準と一次エネルギー消費量の基準の2つがあり、300㎡以上の住宅の場合には届け出が義務付けられ、適合しない場合には指示・命令されることがあります。

まずは、外皮性能の基準を説明ですが、外皮性能とは室内の熱がどれだけ外に逃げてしまうのか、そ

して、夏の暑い日射熱がどれだけ室内に入り込むかを判断するために設けられた基準です。上の図に記したように、室内から逃げる熱の総量を建物の表面積で割ったものが熱貫流率、夏場の日射熱が室内に入り込んだ総量を建物の表面積で割ったものを日射取得率といいます。地域に応じて数値が決められていますが、暑い地域の熱貫流率と寒い地域の日射熱取得率は設けられていません。

エクシード株式会社

2017-04-24号 No.64

〒120-0036

東京都足立区千住仲町11-12

千住彩館602

TEL : 03-3882-8446

URL : <http://www.exceeds.jp/>

次回は05月01日(月)「省エネ型住宅を建てるⅢ」についてです。